



4月のえんだより



~笑顔あふれる
育ちのひろば~
令和5(2023)年4月10日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

満開の桜の下、暖かな春の陽気に包まれて、園児78人で新たな1年をスタートしました。

また、仏教の教えによる保育から、「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育の基本理念に掲げた新たな運営体制となって4年目を迎えました。

子どもたちの最善の利益を追求して、改めて①心身ともに健康な子ども、②主体的に行動する子ども、③自己肯定感を育む子ども、④心豊かで感謝の気持ちを備える子どもを「目指す子ども像」として、子どもたち一人ひとりを真ん中にして、その権利を守り、豊かな個性や特性、能力を大切に育みながら、保護者の方とともに、地域の皆さんに見守られ、日々の成長に寄り添い、支え合い、喜びを共有できる質の高い保育（養護と教育）を職員全員が専門性を発揮しながらチーム全体で保障していきます。

養護では、安心、安全な生活環境を確保し、伸び伸びと活動できるように、一人ひとりに愛情を注ぎ、職員との愛着・信頼関係を築いていきます。

教育では、9分野（知識能力（知育）、創作・造形、運動、音楽、言語表現、食育・健康、安全、園芸・栽培、国際理解・語学）で職員の専門性を活かし、一人ひとりの特性や能力を育み、子どもの健やかな成長と活動がより豊かに展開されるよう支援していきます。

3月25日には卒園式で19名のピカピカの1年生を送り出し、4月1日の入園式では7名の新たな園児を迎えるました。4月6日には在園児みんなで進級式を行い、互いに進級をお祝いしました。



☆お知らせ☆

ホームページ(HP)を開設しました！
(URL) <https://kenshin-meikou.jp>
内容を充実して情報発信を進めます。



電話・FAX番号の変更(予定)について★
4月16日(日)から次のとおり変更の予定です。
・電話 082-824-7801
・FAX 082-824-8030
※これまでの番号は、明顕寺につながります。

<一時的保育を開始しました！>
自宅で子育てをしている家庭を支援するため、不規則な就労やケガ・病気で一時に子育てが困難となったときなどに、月14日以内で保育を行います。詳しくは、HPをご覧ください。

休日保育のご利用を！
年末年始を除いて休日保育を実施しています。
申込は、海田町役場082-823-9227まで。

ひよこ組、赤組の床を畳、木の板からクツション
フロアに、職員用トイレを洋式に改修しました。

・業務執行理事・	白木 昭昭
・事務長	米田 公子
・理事・園長	原田 奏世
・園長代理	石崎 匡世
・幼稚主任	奥崎 由紀子
・乳幼主任	蒲生 亜由美
・主任	相原 朝子
・リーダー	細川 裕加里
・しげ組担任(5歳児)	島崎 愛佳
・あお組担任(4歳児)	今田 千栄
・幼稚副主任・き組担任(3歳児)	松本 裕子
・もも組担任(2歳児)	金井 尚美
・あか組担任(1歳児)	森戸 紀久恵
・ひよこ組担任(0歳児)	副担任 倉留 貴子
・保育士	山崎 弘美、加藤 百華(育休復帰)、 東田 友希、道本 香、高山 真由子(育休)
・看護師	神本 佳穂(採用)
・栄養士	酒井 愛季、佐々木 麻衣
・保育補助員	植本 清枝、吉井 直美、宇佐美 琴美、 西川 愛梨、乃美 ひかる、大田 りん
・保育補助員兼調理員	重高 理恵

毎日元気に過ごそう！！！ ☆園児の健康管理のお願い☆

子どもたちが元気で園生活を送るために、毎朝、健康状態の確認をお願いします。
登園前には必ず検温し、連絡ノートに添付しているカレンダーに記入してください。
体調がすぐれない場合は、医療機関を受診させてください。

体温が37.5度以上、その他全身状態(顔色が悪い、食欲がない、だるなど)が不良のときは、登園を自粛してください。

また、体温が37.5度以上あったときは、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは、登園をお断りしています。

同居のご家族に同様の症状がある場合にも、登園を自粛するようお願いします。

医療機関で感染症と診断された場合は、必ず担任にお知らせください。

感染症が治癒して登園する場合には、登園基準があります。感染症の種類によって、保護者の「登園届」又は医師の「意見書」の提出が必要です。

詳細は、HPの「入園のしおり(重要事項説明書)」をご覧になるか、担任にお問い合わせください。

★子どもたちは、新しい環境や緊張のため、疲れが出やすくなります。いつもと様子が違うときは、必ず担任にお知らせください。

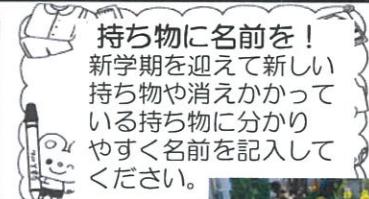


給食について

給食は、栄養士が旬や季節、行事に応じたメニューを作成し、栄養の確保とバランスの取れた食材を使用して、園内で調理して昼食とおやつを提供しています。



衛生管理マニュアルに基づいて、安心・安全な調理を行い、アレルギー対応では医師の診断の下、保護者と連携を取って、アレルギー物質の除去など適切に対応しています。



日	月	火	水	木	金	土
4月9日	10	11	12	13	14	15
休日保育		調整会議	幼児会議	乳児会議	毎週金曜日 語学支援	
16	17	18 体操の広場 (青、黄組)	19 避難訓練	20	21	22
休日保育						
23	24 身体測定週間	25 体操の広場 (白、桃組)	26	27 誕生日会 子どもの日の会	28	29 昭和の日 休日保育
休日保育						
30	5月1日	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
休日保育			天気の良い日を中心 に園外保育を行います	休日保育	休日保育	
7	8	9	10	11 よもぎ摘み (白、青、黄組)	12	13
休日保育			調整会議	幼児会議	乳児会議	

4月園だより担当
保育士:原田 栄養士:佐々木 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366
アドレス info@kenshin-meikou.jp

【ひよこ組 0歳児 6人】担任:森戸 副担任:倉留

一人ひとりの子どもたちが安心して、心地よく過ごせるように子どもたちの気持ちに寄り添い、思いに丁寧に応え、共感し、子どもたちの思いを満たすことで信頼関係を深めていきます。

その中で、食事、午睡、排泄などの生理的欲求や、うれしい、楽しい、悲しいなど心理的な欲求も満たしながら、個々の生活リズムを整えていきます。保育士との愛着関係を基盤として、子どもたちの自発性や探索意欲を高め、個々の成長を支援し、保護者の方々と成長を見守っていきます。

【赤組 1歳児 8人】担任:金井

「何でも自分でやりたい！」自我の芽生えを大切にしながら情緒の安定を図り、安心して自分の気持ちを表すことができるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添い、生活リズムを大切に信頼関係を築いていきます。

生活や遊びをとおして、聞く、見る、触れるなどの経験を重ね、人やまわりへの興味関心を広げ、ことばのやりとりや表現することで子どもたち同士のふれあいを深めていきます。

【桃組 2歳児 13人】担任:松本

朝の準備や片付けなど、身の回りのことを自分の力でしようとする気持ちが育まれています。個々の思いやペースを尊重し、主体的に基本的生活習慣を身に付け、自分でできた達成感や満足感を感じることができるよう支援します。

子ども同士の関わりが深まるよう、子どもたちの興味や関心を刺激する園外活動や散策、室内遊びなどを取り入れながら、「みんなと一緒に楽しい、みんなと一緒にやってみたい。」との思いが広がるよう、保育士が仲立ちして、毎日が生き生きと充実した活動となるよう取り組んでいきます。

【黄組 3歳児 18人】担任:今田

生活習慣の自立やクラスのメンバーとして協働した活動の充実を目指して、本の読み聞かせや、園外活動をとおして、知的な興味や関心を高めながら、一人ひとりの思いを受け止め、寄り添い、見守り、個性豊かな育ちを支援していきます。

クラスでの活動を増やしていくことで、園児相互の関係性を深め、自他との葛藤や調和など多様な感情を経験させる中で仲間や友だちに対する信頼感や思いやりの気持ちを育み、社会性が身に付いていくよう支援していきます。

自分の考えや経験を言葉で表現できるよう、子どもたちの思いをしっかりと受け止め、「そうだね」と認めたり、「～だったんだね」と繰り返したり言い換えるなど、積極的に子どもたちとの会話を大切にし、深めていきます。

クラスの紹介

【青組 4歳児 15人】担任:島崎

子どもたちが、主体的に見通しをもって、創意工夫、試行錯誤しながら自分の力でやり遂げることで、できた喜びや充実感を感じることができるように、子どもたちの自発的な行動を促し、見守り、応援していきます。

自分の力で取組む中で、仲間とぶつかり合ったり、互いに疑問を抱いたり、発見したり、喜びを共有したりすることで、自分と相手との思いや良いところ、悪いところを理解し、互いに認め合うことができるようになるよう活動を進めます。

自信を持って行動し、個性や能力を育み、發揮することで、豊な感情、好奇心、思考力が培われるよう支援していきます。

★専門性を活かしチームで保育を推進します★



みんなで楽しい語学支援！

①知識能力（知育）支援担当：原田園長代理

子どもたちのしりたい、みたい、やってみたい、などの日々の興味や関心を大切に、図鑑や映像を用いて調べたり、考えたり、発達段階に応じたワークや知育玩具などを活用して、一人ひとりの知的能力を引き出し、高めています。

③運動機能支援担当：蒲生主任

運動機能の基礎を身に付けるため、跳び箱や鉄棒、縄跳びなどの運動器具を使った活動を取り入れたり、戸外に出てしっかりと体をうごかす等、遊びをとおして、健康な身体づくりを目指します。

また、運動能力の向上だけでなく、ルールのある遊びをとおして、コミュニケーション能力を身に付けたり、集中力や自主性、協調性を育んでいけるよう支援します。

⑥食育・健康支援担当：酒井、佐々木栄養士

今田 副主任、黄組担任

「食を営む力」を培うために、野菜の栽培やクッキングなどの様々な食の体験を通して、食への意欲を育て、食に関する正しい知識と健康的な食習慣を身に付けることを目指します。

また、子どもたちみんなで日々の給食を楽しく、おいしく食べる中で、食べ物に興味を持ったり、食や栄養への関心が高まるように支援します。

健康に必要な知識や習慣が身に付くように絵本や新聞などをとおして、話をしたり、歯の磨き方、便の出る仕組みなど、子どもたちと考え、実践しながら、自分の身体や健康に興味を持ち、元気に毎日を過ごすことができるよう支援します。

【白組 5歳児 18人】担任:細川

「保育園の中で1番大きいお兄さん、お姉さんになった！」という気持ちから、主体的に活動する自覚が芽生えています。

社会生活に必要な決まりや態度を身に付けたり、仲間で考えたり、話合ったり、役割を分担をしながら、最後まで協力して目標に向かって、挑戦し、取組み、乗り越えることで、達成感や充実感を育み、自信を深め、主体的に行動していく力が身に付くよう支援します。

就学に向けて「話す力」「聞く力」「考える力」を高め、自分の思いを主張し、周りとの折り合いを付けていく体験を重ねるとともに、身近な環境の中で、興味や関心を深める「気付き、ときめき」などの感動体験を通して、豊かな感性や感覚を養いながらクラス全員の生きる力を育みます。

②創作・造形支援担当：奥崎乳児主任

様々な素材に触れたり、色々な技法を使いながら興味を広げていき、自分の感じたこと、考えたことを表現して作ったり、描いたりすることをとおして豊かな感性を養えるようにし、創作活動をする中で、季節や生活の中の年中行事にも親しめるようにします。また、発表会の小道具、背景作りや作品展の共同製作をとおして保育士やみんなと一緒に作る楽しさ、イメージが形になる喜びを感じられるように支援します。

④言語表現支援担当⑧安全教育担当：石崎幼児主任

自然と挨拶ができるようになったり、誰とでも進んでコミュニケーションがとれるよう、日々の生活の中で絵本、紙芝居、エプロンシアターなどを活用しながら、豊かな表現力が身に付くよう支援します。

毎月の避難訓練を通して、危険を察知し、回避する能力と安全のためのルールを身につけ、見通しをもった行動ができるよう支援します。



⑤音楽表現担当：相原リーダー

発達に合わせた音楽や歌、リトミック、楽器などを取り入れ、心地よい音楽やリズムに親しみながら、体を動かす面白さや音楽に触れる喜びを感じ、表現することをとおして、豊かな感性や表現する力が育まれるよう支援します。

⑦園芸・栽培支援担当：米田園長

身近な自然にふれあう中で、季節を感じ、植物に興味関心を寄せ、季節の花や野菜を知り、土作り、種や苗植え、水やりをしながら成長を見守り、葉や花、実の違いを知り、収穫することを喜び、命の不思議さに気付き、食べることで味覚を増やし、食べ物や健康の大切さを知っていけるよう計画に基づいて、1年間、切れ目なく支援していきます。